

乙未炎の祭典



 きたひろしま

議会だより

vol.6

2006. 11. 17

第3回定例議会（9月20日～9月28日） …… P2

平成18年度一般会計予算（補正第3号・4号）…P2～P3

一般質問 16議員が町政を問う …………… P4～P11

条例・発議 …………… P12

追跡レポート …………… P12～P13

委員会報告 …………… P14～P15

傍聴記・意見箱 …………… P16

台風13号関連災害
復旧費を含む

一般会計予算



補正第3号 1億2,000万円、
補正第4号 9,700万円を追加して

149億2,700万円に

(千円以下切捨て)

歳出科目	補正額	年間予算
総務費	500万円	18億6,476万円
民生費	▲77万円	22億7,557万円
衛生費	637万円	8億2,420万円
農林水産業費	1億1,335万円	15億8,139万円
商工費	27万円	1億786万円
土木費	584万円	10億7,183万円
消防費	198万円	6億1,240万円
教育費	303万円	14億2,597万円
災害復旧費	9,800万円	3億7,314万円
諸支出金	▲2,042万円	17億2,399万円
予備費	433万円	4,232万円

- 国民健康保険特別会計(補正第2号) …… 8,900万円を追加して22億9,000万円に
- 下水道事業特別会計(補正第2号) …… 3,000万円を追加して9億300万円に
- 農業集落排水事業特別会計(補正第2号) …… 1,000万円を追加して4億2,200万円に
- 介護保険特別会計(補正第2号) …… 900万円を追加して22億9,800万円に
- 簡易水道事業特別会計(補正第2号) …… 1億6,300万円を追加して9億4,000万円に
- 芸北財産区特別会計(補正第1号) …… 190万円を追加して8,900万円に
- 診療所特別会計(補正第2号) …… 200万円を追加して1億8,800万円に
- 水道事業会計(補正第1号)
 - 収益的収入 …… 650万円を追加して1億3,808万円に
 - 収益的支出 …… 694万円を追加して1億5,889万円に

水道事業会計・豊平病院事業会計決算

北広島町水道事業会計



(1) 収益的収入および支出

収 入	支 出
136,931,506円	131,809,758円

(2) 資本的収入および支出

収 入	支 出
18,119,625円	120,264,897円

(3) 当年度純利益 2,699,937円

北広島町豊平病院事業会計



(1) 収益的収入および支出

収 入	支 出
777,906,383円	794,582,003円

(2) 資本的収入および支出

収 入	支 出
411,000円	1,042,964円

(3) 当年度純損失 16,675,620円

決算審査報告及び意見

北広島町監査委員 箕野春人 杉本武信

平成17年度北広島町水道事業会計決算書及び平成17年度北広島町豊平病院事業会計決算書は、提出された関係諸帳簿並びに証書類等と照合した結果、適正であると認める。

【監査意見として】

水道事業については、未収金が増加しないよう努力を求め。また、呉市、江田島市の送水管崩落事故のこともあるので、老朽化した配水管対策にも留意して水道整備事業年次計画を作成し、住民にとって安心安全な水道事業を推進されたい。

豊平病院事業については、北広島町の福祉・医療・保健の事業計画立案や事業実施等も行政と連携を図り、全町を視野に入れた地域福祉・医療・保健等を検討する必要があるのではないか。また、診療所を含めた経営健全化委員会で経営診断等も考慮され、できるところから対応はされている。事業採算性の向上に向けた事業計画等を作成し、町民からの安心と信頼の地域医療の負託に応えられたい。

今後、源流域の自然と田園風景が息づく『やまなみ中央タウン』北広島町を大きく躍進させて、町民が安心・安全を実感できる北広島町づくりに努力されることを祈念し、平成17年度北広島町水道事業会計決算、平成17年度北広島町豊平病院事業会計決算の審査報告並びに意見とする。

一般会計補正予算に対する主な質疑

Q 水田汎用事業と集落経営体育成事業の制度及び補正の内容は？

A 水田汎用化事業は、小規模の農業基盤整備で、芸北地域の四地区、四・二六ヘクタールの水田を畑化するものです。県五〇パーセント、一・二五万円の補助金額を計上しています。

Q 集落経営体育成については、今回新たに設立される八法人が対象で、法人が必要とする機械等の導入に充用できる補助金です。国五〇パーセント、三、九四〇万円を計上しています。

Q 吉川史跡のガイダンス施設建築工事請負費の減額の理由、周辺整備事業、万徳院跡復旧事業の増額は？

A ガイダンスの請負費減額は、一、〇六七万三千円の入札残分です。周辺整備一〇〇万円の増額は、文化財指定地に接している指定地外の水路

や階段等を単町(一〇〇万円)で整備するものです。万徳院の復旧は、池の流水を池尻から排出するための暗渠排水施設がここ数年の大雨等によって陥没したので、これを復元するため七〇〇万円を計上しています。

Q 火災報知機の設置は、町営住宅二四六戸全部に行うのか。報知機の形式は配線方式か、電池方式か。また、誰が取り付けるのか。

A 今回補正分は、千代田エリア、豊平エリア分を想定しています。機種は未定だが、形式は電池式を考えています。取り付けについては、町の方で行います。



どうなる？
私たちの
町づくり

町政を問う

一般質問

行政

問 財政健全化と効率的な
行財政改革について

答 公債費負担適正化計画を
策定する



真倉 和之

問 外部環境の変化
するなかでの行政
運営は、危機的な財政再
建と行政サービスを創造
するため自治体の経営戦
略と言言葉が使われ効
率的な改革は必須です。
自治体の借金はバブル
崩壊後の景気対策に公共
事業を増やし、身の丈以
上の財政運営にあります。
実質公債比率が異常に高
いなかで新しい町づくり
をどう進めて行かれるの
かお伺いします。

答 実質公債比率は
二一・二％で今後さ
らなる上昇も見込まれる。
今年度起債許可に当って

行政

問 米軍基地低空飛行の
対応について

答 県と協力し中止を求め
る



梅尾 泰文

問 在日米軍再編の
動きは多くの県や
市町村に波紋を起して
います。北広島町の上
空を爆音を轟かせながら
パイロットの顔も確認でき
るくらいの低空飛行を続
けています。非常に危険
なことだと思います。本
来この上空を飛ばさ
せてはなりません。
新町になって飛行の監
視態勢も薄くなったと聞
くが現状と対応について
質問します。

答 相当数の目撃件
数はあります。芸北
地域について、ほぼ一日
中繰り返された日もあり

九月豪雨災害の爪あと



▲土石流発生の本地地区



▲土石流発生の南方畑地区

国語教育充実の
必要性

問 日本の子どもの
読解力の低下は学
校教育の大きな課題で母
語である日本語教育の充
実が必要ではないか。

答 国語教育の重要
性は各教科の基本
です。読解力を高めるこ
とで、他の教科領域の学
習も充実すると考えます。

予算編成の
考え方について

問 普通建設事業費
を縮小し健全な財
政再建をしないと、夕張
市のように起債制限団体
になります。

答 投資的経費につ
いて優先順位をつ
けながら、新町建設計画
は着実に推進する。

行政

問

台風十三号・大雨災害の
早期復旧を求める

答

災害の早期復旧を
国・県に強く要請する



亀岡 章治

問

①災害調査の結果
について詳細な説明を

②今回の災害は道路、河川、
農地、水路農道、宅地、山津
波等を含め大災害だ。災害
関連復旧事業や激甚災害
指定等で被災地域の一体
的な早期復旧を求める。
③災害の内容によれば毎
日の生活に事欠くものも
少なくない。応急工事等特
に配慮が必要と思いま
すが見解を求めます。

答

①道路、河川、農地、
農林道、頭首工、水路、
溜池、床土・床下浸水等々
八三五箇所におよぶ大災
害です。

②災害復旧に当たっては、道
路、河川、農地水路等を含
む災害関連復旧事業と激
甚災害指定を、国・県へ強
力に要求して被災地域全

行政

問

農地等の復旧に
ついて説明を。

答

農地の復旧は、五
%の自己負担。限度
額以上の事業について
は五〇%の自己負担。

問

災害地図の作成と
災害時の情報の周知徹底について

答

情報の徹底を図る



大石 敏之

答

災害地図を作成
し適確な情報を提
供します。

問

自然災害から住
民を守るためには、
河川改修治山事業等の
対策を進める事はもち
ろんですが、町内の災害
が予測される箇所、避難
場所が、一目でわかる、
いわゆる災害を予測し
た地図を作成して住民
に周知する必要がある
ます。

また、災害時の情報を
早く放送等により、周知
徹底すべきでは、ありま
せんか。

災害時の情報伝達は万
全を期すべきですが、本
部と現場の情報システム
に課題があった。今後よ
り正確で、迅速な情報収
集をし、提供できるよう
にします。



▲ 一級河川出原川（南方中原地区二反田橋上流）

行政

問 通信の整備は

答 全力で取り組みます



濱田 芳晴

問 私は通信の整備を一年前に質問しています。町は本年度を調査年とし、国の事業で光ファイバ網の整備に取り組みたいと答えておられます。将来大半が限界集落(高齢化率50%以上)になるのではと心配しています。そこでこの事業は、条件不利地の福祉対策・自治機能の維持に利用でき賛成です。いつの時点で国の事業に申請されるのか伺います。

答 高度通信社会で地域格差が出てはいけないので、総務省の地域情報通信基盤整備事業などで取り組みます。本年七月、平成十九年度案件要望に係る二

行政

問 豪雨災害に対応できる体制整備を

答 所要の人員配置・強化を行う



蔵升 芳信

問 今回発生のもう豪雨は、局地的ではあるがこれまでに例を見ない程甚大な被害が発生している。再災害が危惧される箇所も多々あり、早期の復旧が求められる。このためには通常業務の見直しや、建設課等組織体制の大幅な拡充が必要である。また県職員の派遣応援を求めめる事も考えられるが、どのような対応を検討されているのか伺います。

答 職員一丸となり日夜全力を傾注しているが、災害査定業務等膨大な業務を期限までに処理する必要があり、所要の人員配置が必要と考えている。当面の措置とし

激甚災害の指定は

問 激甚災害の指定と幹線道路鈴張地区の片側通行の見直しは、県に要望し指定に向けて調査。道路については市と協議したが、片側通行は困難。



学校施設の環境整備について

問 猛暑の夏であり、町内各学校の冷房施設の整備状況は、また今後における整備計画について伺う。

答 冷房設備のある学校は、パソコン教室等で六校、校舎の耐震補強工事等の整備を含め整備計画を策定する。



▲通行不能となった県道千代田八千代線(南方畑地区)



▲基礎部分が流失した宅地(南方畑地区)

九月豪雨災害の爪あと

行政

問 公共工事の発注について

答 公表した工事は
予定通り発注



藤堂 修 壮

問

北広島町の公共
工事七十七件が四
半期に分け発注予定が
発表され公示されまし
たが、その執行状況につ
いてお伺いをします。

①発注は当初の予定通
りに執行されているのか。

②変更された工事はあ
るのか、また追加はある
のか。

③変更された工事の今
後の取り扱い。

④発注済み工事の進捗
状況は。

答

①二五〇万円以
上の工事公表が七
十七件、事業箇所の変更
で六十六件となり、現在
四十六件の発注で予定
通り執行。

②変更は県の交付決定
による施工箇所の変更

問 公共施設の改善について

答 公共トイレに障
害児用補助便器の
設置を。

答 障害児用トイレ
に対して利用度・緊
急度の高いものから重
点的に検討をする。

行政

問 広域合併に伴う 建設計画の見通しは

答 計画どおり推進します



室坂 光 治

問

合併前に樹立し
た建設計画が合併
一年七ヶ月を経過した
今日、計画通り遂行され
ているかお伺いします。

榎どんぐり荘の浴場
の老朽化が進み、温泉水
が漏れる状態、又風呂は
合宿用で窓も少なく暗
い感じがします。これ
で来客者のイメージダ
ウンは避けられません。
新町建設計画通りに工
事ができないですか。

答

新町建設計画の
見通しですが、主
要事業として位置づけ
られている事業が二九
一事業あります。建設計
画の基本となるべき財
政推計と、現在の財政状
況にかい離が生じてお
りますが、今後とも新町
建設計画の着実な推進
を図ることとしており
ます。どんぐり荘浴場の
整備事業は、平成二十一
年度からの計画となっ
ております。



少子化、結婚対
策に対し北広島町
独自の考えは。
答 定住促進を推進
し若い家族の定住
を進める。また子育て支
援の環境整備の充実に
取り組む。

少子化対策と 結婚について

や事業の中止、発注時期
の変更、追加は下水道築
造、簡易水道、災害など
二十四件。
③変更した事業は新町
建設計画に沿い引き続
き努力する。
④進捗状況は概ね予定
通り、九月災害の復旧は
事業の緊急性に鑑み速
やかな事業執行をします。



▲一級河川出原川(木次地区の護岸決壊)



▲一級河川出原川(南方本郷地区)

行政

問 新町の特徴ある町づくりとは

答 旧町域の特徴を最大限活かした時代に合う町づくりを



高原 和彦

問

合併から一年半、住民と共に目指す特色ある町づくり実現に向け、現在の事に対する進捗と行政のこれからの考えを問います。

- ①旧四町住民の総意は十分考えに入れているのか。
- ②考え、方向づけにメリハリは必要ないか。
- ③行財政改革と今後の新町の考えは。
- ④時代に合った町づくりとは。
- ⑤住民の意見はどう受け止めて行くのか。

答

新町が目指す町民が期待する町づくりを目標に、自然の資源を最大限活かした開発と事業の優先・集中・選択に合わせ、効果への

通学・通園に

住民全体で応援を

見直しにメリハリを考へ入れた行財政改革を基本とし、新しい地方分権の波を乗り越える為にも、年一回程度は直接住民から声をいただけける機会も用意し、旧町域の特色を最大限活かした時代に合う町づくりを行ないます。

問

子ども達に行政と住民はさらなる現状への認識取り組みが必要と考えるが。

答

通学・通園の状況。今の子ども達への社会状況の変化等に対応した支援、取り組みが必要と考えています。



行政

問 芝生化について

答 先進地の成果を見ながら



竹丸 学

問

町内では芝生化を進めている施設があります。芝生化すること子ども達の健康増進・運動能力の向上にもつながると思います。

これまでの芝張りの方法では、膨大な経費がネックとなっていました。今行われている方法は経費も非常に少なくすすみます。是非この事業を進めて行くべきと思います。が、お考えを伺います。

答

ゆとりと潤いの環境づくりや地域に開かれた学校づくりなど、様々な効果があるうと思っています。

今後の取り組みとしては、先進地を見ながらまた豊平で行われてい

職員の人事について

る試験的取り組みの成果等を見ながら、慎重に方向性を定めて行きたいと考えています。

問

町内をよく知り、一層の行政サービス向上のためにも町職員の人事の交流が必要と思うが。

答

適切な配置により、多様な職務の経験、能力の向上・マンネリ化防止など図るため、人事交流をしていく。

民生委員・行政区域長

について

問

民生委員の災害など特別な事情の時の対策は。また、区長の不均衡の早期解決は。

答

各民生委員協議会又行政区域長の代表者会議にはかり、解決に向け調整していきたい。

九月豪雨災害の爪あと



福祉

問 病院・診療所の将来像は

答 答申を尊重します



箕 牧 智 之

問 「北広島町集中改
革プラン五年計画」
によると、病院・診療所
等の経営改善があります。
過疎地域の国保病院
は自らが汗して設置し
た病院です。

答 責任ある経営体制に
するために、合併協定
書に盛り込まれている
通り、来年度からの地方
公営企業法の全部適用
を提案します。

お考えを伺います。

答 現在、経営健全化
委員会では鋭意検討
しています。今年度中に
結論が出ると思います。

今後は繰り出し、繰り
入れのルールを明確に
して長期計画をたてて
健全経営につとめてま
いります。



公営企業法全部適用
については委員会での
答申を得ながら、方向性
を明確にしていくよう
考えています。

災害に強いまちづくりは

問 大雪、長雨、猛暑
集中豪雨はすべて
町に災害を引き起こし
ています。対策は。

答 ハード面では危
険度を考慮しながら
計画的に整備します。
ソフト面では危機管
理システムを考え整備
に努力します。

福祉

問 森林療法への取り組みは

答 調査や検討をします



久 茂 谷 美 保 之

問 森林浴による樹木
が発散する独特の
香りが、神経系・循環器系・
呼吸器系に良いとされ、
ロシアやヨーロッパでは、
すでに、医療現場でも用
いられており、日本でも
全国で取り組みがなさ
れています。森林浴に適
する森の整備、また、癒
しの森としての認定と、
各地の温泉施設との連
携による、森林浴事業に
ついて考えを伺います。

答 北広島町には、中
国山地をはじめ、登
山、キャンプ場など最適
な施設や場所があります。
観光協会や商工会・北広
島町健康増進計画などで、
調査や検討をします。

**国県道の推進
協議会について**

問 国道三路線をは
じめ、それぞれに協
議会が設置されています。
市町村合併後の活動は。

答 現在六路線の協
議会があり、道路
改良のため国・県に陳
情し、早期の整備に努
力します。



▲一級河川出原川(さいの河川と化した南方中原地区)

教育

問 学校評議員制度について

答 全ての学校で一学期一回
年三回開催



中田 節雄

問 現在、学校現場では、校長・教頭をはじめ教師のほとんどが地域外あるいは町外出身者となっております。今一つ特色ある教育、個性ある教育について物足りなさを感じております。学校自由選択制度の参考にもなるため、この制度が、学校側として評議員の方に理解されているか、そしてきちんと開催されているのか伺います。

答 小中学校全ての学校でこの制度を導入しており、学校ごとに二、三名を委嘱し、三分の一は女性です。評議員会は、一学期一回、年三回開催し、活動は会議だけではなく、地域の情况等を学校へ報告する平素

教育

問 学校の統廃合について

答 教育の環境整備のため
取り組む



杉本 武信

の活動、そして授業参観を含め、学校と地域の窓口となつて頂いております。評議員会の内容は教育委員会へ報告頂いております。

問 総務省通達もあり、当面助役二人制にして業務を二分し、行政組織の充実を

答 助役・収入役も十分に職責を果たしており、現行体制の変更はすべきでないと考えます。

問 収入役を廃止 助役一人制

答 現在保有している町有地で、利活用計画のない土地については処分が必要では

問 遊休町有地の売却を

答 早急に実態を把握し、利活用を検討するのは売却を検討します。

問 竹下町長は選挙の際に、四年間は教育水準の向上に努める、学校統廃合はその後に論議すべきと言われた。二年も待たずに統廃合を急ぐのなら理由を説明すべきではないか。

答 委員会の答申をもとに地域へ理解を求め、やり方はいかかと思う。保護者や地域の意見を大切に組み組んでいきたい。

問 犬追原住宅の空家について

答 建替計画で空家としていた犬追原住宅よりも古い住宅は相当ある。建替計画を見直し活用すべきではないか。

問 空家になっている十一戸のうち数戸を修繕して入居募集する。



答 町及び教育委員会は、施設や児童生徒数など教育環境の整備に責任を持つている。耐震工事も進める。専門家や関係者による(仮)小中学校適正配置等検討委員会でも面的かつ慎重に論議していただき、

九月豪雨災害の爪あと



▲一級河川吉木川(吉木地区)



▲護岸決壊が連続する砂防河川根の谷川(南方畑地区)



▲一級河川出原川(南方本郷地区)

産業

問 経営安定化対策への
加入申請の実態は

答 広島農政事務所と協調して



中村 勝義

問 新対策は、担い手に限定して交付金が出ます。その確認と加入申請の第一弾として

今回は秋まき麦を作物と対策交付金を希望する農業者となっております。そこで対象農家数と実態、又集落営農組織は特定農業団体として認定が必要となっておりますが、その現状と更なる組織化に向けての取り組みを伺います。

答 加入を予定している農業者は、大朝地区と千代田地区で計五団体の予定です。対策への加入手続き等は広島農政事務所が一切行います。現時点での状況は、

認定済みの団体が十八、今年度中に認定申請を計画中の地域が五地区あります。今後、町として日程調整等の側面的協力をし、組織化に向けた支援して行きます。

通学方法と安全確保は

問 通学費補助条例で、その他特別の事由による場合とありますが、この見解を伺います。

答 民家のない区間が長く、熊出没等予想され緊急避難できる場所がない場合としております。



産業

問 観光産業の振興について

答 観光振興プランを策定していく



宮本 裕之

問 観光産業は二十

一世紀の基幹産業として、その成長が大きく期待されています。本町には、九箇所のスキー場、神楽をはじめとする有形無形の文化財、さらには豊かな自然があり、沈滞している観光客増に取り組みべきと考えます。本町の観光産業の現状と将来展望についてどのよう認識しておられるのか伺います。

答 本町は、豊かで多

彩な観光資源に恵まれ、広域的な交通体系も備えており、立地的にも恵まれていると考えます。しかし十分な広域的観光ネットワークは形成されてなく、北広島町として、一体的・総合

友好都市・姉妹都市

連携について

問 北広島町として、経済効果が望める市町村との友好連携を進める考えはないか。

答 現在、大崎上島町、高知県越智町との交流もあり、さらなる友好提携はお互いのメリットが必要で

す。



▲一級河川出原川(橋梁流失の丁保余原地区)



▲一級河川出原川(丁保余原地区)

条例改正 可決

- 一、北広島町長期継続契約を締結することができるとする条例
- 二、特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 三、北広島町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 四、北広島町乳幼児医療費支給条例の一部を改正する条例
- 五、北広島町老人医療費助成条例の一部を改正する条例
- 六、北広島町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例

財産の取得 可決

- 一、消防自動車（小型動力ポンプ付積載車）二台

財産の無償譲渡 可決

- 一、身体障害者輸送車を北広島町社会福祉協議会に譲渡
- 二、川東地区共同利用機械器具（トラクター一台）を川東地区共同利用機械器具管理者に譲渡

価格一、一三五万八千円

発議 可決

- 「公共工事における建設労働者の適正な労働条件確保に関する意見書の提出について」
- 一、公共工事において、建設労働者の適正な賃金が確保されるよう公契約の制定を検討すること。
- 二、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の附帯決議事項について実効ある施策を実施すること。



芸北広域農道全線貫通に向かって



議会において、芸北広域農道の進捗状況について多くの質問がされております。

この路線は、芸北・豊平・千代田地域を最短距離で結び、町民の生活道として重要な道路であると共に、農林業振興・広域観光振興のためにも重要な役割を担っています。

- ①現在完成区域と通行可能区域は、
- ②工事予定区域はどうな

っているのか。また、完成後の利便性及び経済的効果等について町としての現在までの状況と今後の取り組みについて報告致します。

芸北広域農道

芸北広域農道は、町道区間を含め約二十六、九kmあり、農道部分が十九、四kmです。

このうち安芸太田町畑ヶ谷から本町溝口までの七

九kmのうち、約五kmが既に供用開始されており、残りの区間について工事を実施しております。

また、豊平どんぐり村から西宗までの約三kmについても、供用を開始しています。

溝口から豊平支所付近の第四期、また西宗から終点の奥今田までの第二期は、平成十九年度および二十年度に再採択を受けるよう準備を進めております。

完成後の利便性

この広域農道の建設により芸北広域営農団地の一体化、産地形成の推進を図り、広島市、京阪神等の市場への流通の改善により、地域振興を図ることが目です。

このため、芸北地域と豊平地域と千代田地域と地域を横断し、地域内と中国道千代田ICを最短距離で結ぶこの広域農道の建設が、地域振興上必要です。既設のカントリーエレベーターやJAに併設されている農産物集出荷貯蔵

施設への農産物の輸送、京阪神・広島市への出荷体制の改善を図るとともに、家畜排泄物の適正処理と、有効利用の核となる糞尿処理施設への搬入及びほ場への堆肥還元を推進するなど農業生産団地の質の向上を図るため、この広域農道の建設は不可欠であります。

(1) 通行可能区間

- ▼ 細見から安芸太田町平見谷を経由して溝口までの間
- ▼ 豊平支所から県道を重用して、とよひらどんぐり村付近から西宗までの間

(2) 工事予定区間

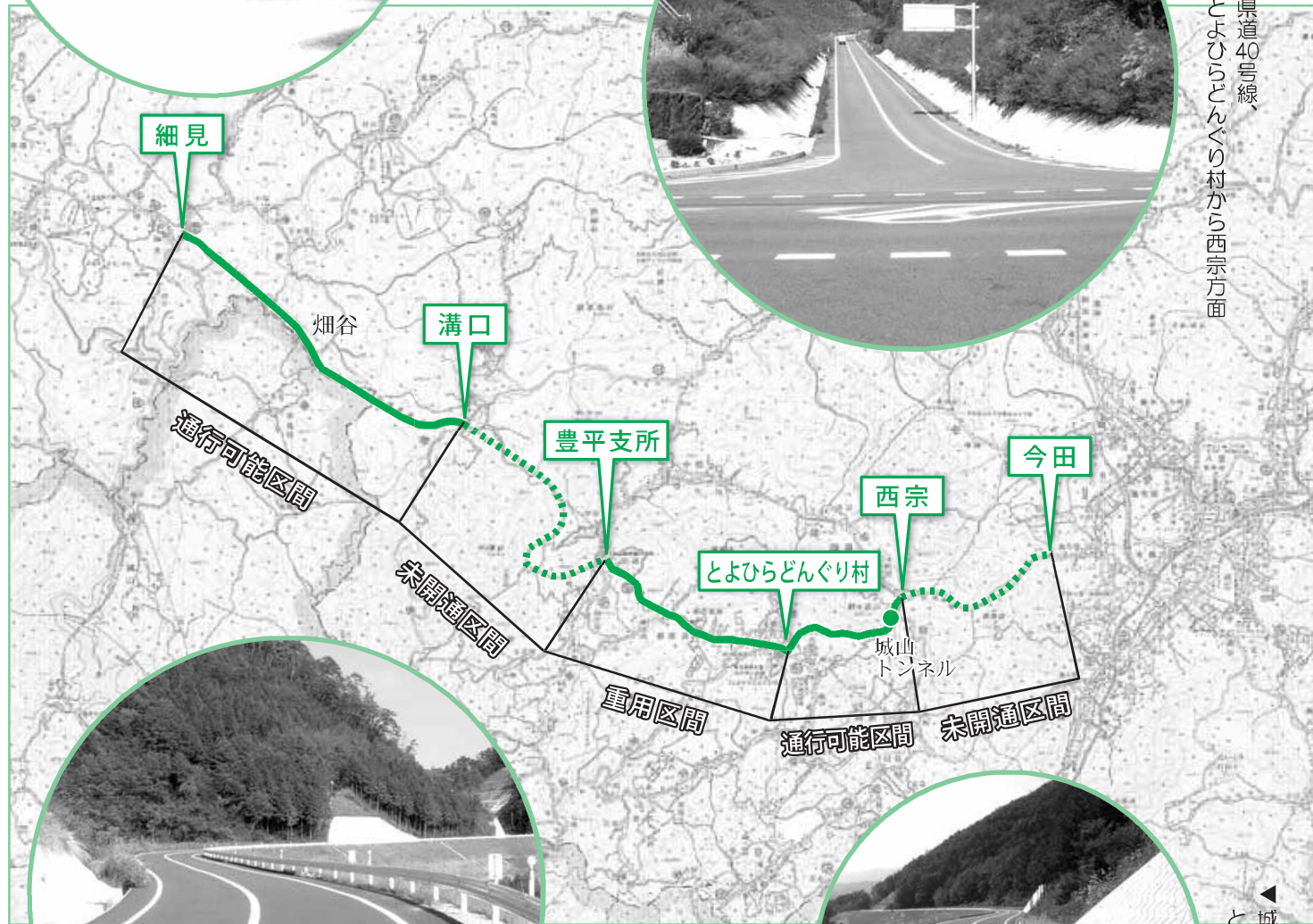
- ▼ 溝口から豊平支所までの間
- ▼ 西宗から今田までの間



◀ 城山トンネル



◀ 県道40号線、とよひらどんぐり村から西宗方面



◀ 城山トンネル方面へ



◀ 城山トンネル、とよひらどんぐり村方面へ

委員会報告

北広島町議会では、よりよい町政を行うため、三つの常任委員会・議会運営委員会・その他特別委員会等を設けて、活動を行っています。

総務常任委員会

定例会中の委員会活動

一、議案・予算関係

関係課の課長及び主幹の出席を求めて、提出議案の詳細説明を受け、指摘等を含め意見交換を行う。今回は企画課で取り組みを進めている「地域イントラネット基盤整備事業」の内容について、特に時間をかけ意見交換を行った。

また、助役及び担当係長の出席を求めて、町条例の一部改正に伴う手続き手法や本庁と支所間の人事交流等について協議・研修を行う。

二、発議

公共工事における「公契約法」の制定を求める意見書について協議をし、発議第3号として議会上程した。

三、北広島町まちづくりアンケート調査結果について

企画課より調査結果について概要説明を受ける。

四、「地域イントラネット基盤整備事業」について県と協議

厳しい財政運営の中、三十数億円の事業費を要すると見込まれる「地域イントラネット基盤整備事業」について、国の支援策の拡大（現行三分の一補助）を求めため、10月3日宮本県議の同行を得て委員4名が県庁情報政策室に出向き事前協議及び要請を行う。今後県の支援も得ながら、町執行部と国（総務省）への要望・要請活動を行う予定。

福祉保健常任委員会

定例会中の委員会活動

九月二十一日・二十二日、町民課及び福祉課から当面の課題について説明、協議を行いました。

町民課関係

一、火葬場問題について
二、西部衛生組合の動向について
三、一般会計・特別会計補正について

福祉課関係

一、障害者福祉計画、病後児保育事業等について
二、一般会計・特別会計補正予算について

保健課関係

一、健康増進計画の策定及びうつ病対策委員会
町立病院（直営）経営健全化委員会の状況等について
二、一般会計・特別会計補正について

【九月二十七日】

北広島町社会福祉協議会、特別養護老人ホーム「やすらぎ」、グループホーム「新庄」の視察・意見交換を行った。



特別養護老人ホーム「やすらぎ」



グループホーム「新庄」

意見交換を行いました

平成十九年度から始まる経営安定対策について七月二十六日宮本県議、芸北地域事務所農林局長と意見交換を行う。

定例会中の委員会活動

一、陳情要望三件について審議

二、平成十八年九月十六日から十七日発生の集中豪雨及び台風十三号災害による現地踏査を行った。千代田エリアの石井谷・本地・南方・畑地区・豊平エリアの阿坂・吉木・今吉田地区の被害は甚大である。被災された方々にお見舞いを申し上げるとともに早期復旧を強く要請した。



▲被災直後の現場踏査(本地地区)



▲国道261号被災箇所内の一箇所



▲通行止め案内(千代田地域有田交差点)



▲災害査定に向け取り組みが進む建設課職場



▲通行止め案内(広島市鈴張)

国道二六一号通行止解除は
平成19年1月中旬予定



議会傍聴記

千代田地区 山崎 峯人

議場に入るや、目につくものは、ひな壇に27名、議員は25名、議長の宣言により議会の開会である。各議員の質問が始まる。1〜2年前より発言が変わってきていると思う。ひな壇の執行部も真剣に取り組んでいる様子を見て傍聴できることに感謝する。

『ない袖は振れない』とよく言うが、行政はそれが言えない。行政は最低の福祉を守るためのものだ。まず、教育問題、学校通学区域弾力化で学校を自由に選ぶことができると言われているが、特色ある学校の中身はどうなのか。学校ごとの比較があつて始めて保護者が選択できるのではないか、現状は名目だけで昔の地区割りです。今、特に安心・安全・学力と言われている。しかし、議会答弁にこれらへの教育長の理念が出ていないと感じる。

次に行財政改革ですが、簡単に言えば、職員を減らすか、

人件費を下げるかではないのか。

農業問題もある。農地改革に匹敵する改革でありながら、来年度の荒起しが始まっている現在でも見えてこない。担い手等の枠に入らない農業者切捨てなら、それらをはつきりさせる必要がある。年内に話をまとめ、農業者へ情報提供してほしい。

高齢化については、5年前の介護保険の制度ができた時、ある新聞に『介護保険、早く死んでください、国のため』とある。へそ曲がりと言われどもベットになるな。呆けるぞ、我がことなり。

最後になるが、『行革』を進めるならひな壇は15名でよいと感じる。

発言の中に『よそから』とか『よそもの』という言葉が出るが、絶対にやめてください。

言ったあなたに何ができる。苦言を言いました。

表紙の写真



『乙九日(おとくち)』は戦国時代、雄鹿原地区で繰り広げられた栗栖勢(安芸の国)と福屋勢(石見の国)の合戦を再現した祭り、松明を持ち練り歩く武者姿が勇壮です。



議会を傍聴し感じたことは、議員の質問、とりわけ再質問は、当局の答弁とすれ違いのないように工夫・配慮が必要と思えました。(意見箱より)

あとがき

台風十三号の影響による九月十二日夜半の局地的集中豪雨により、本町も甚大な被害が発生しました。被災された方には心からお見舞いを申し上げます。また、九月定例議会では、本町の「実質公債費比率」が県下のワーストワンのなったことが議論になりました。一日も早い被災地の復旧、また、厳しい財政運営を迫られている本町財政の一日も早い立て直しに向け、執行部はもとより、町民の皆さんの意見を聞きながら議会も知恵を出し頑張ります。